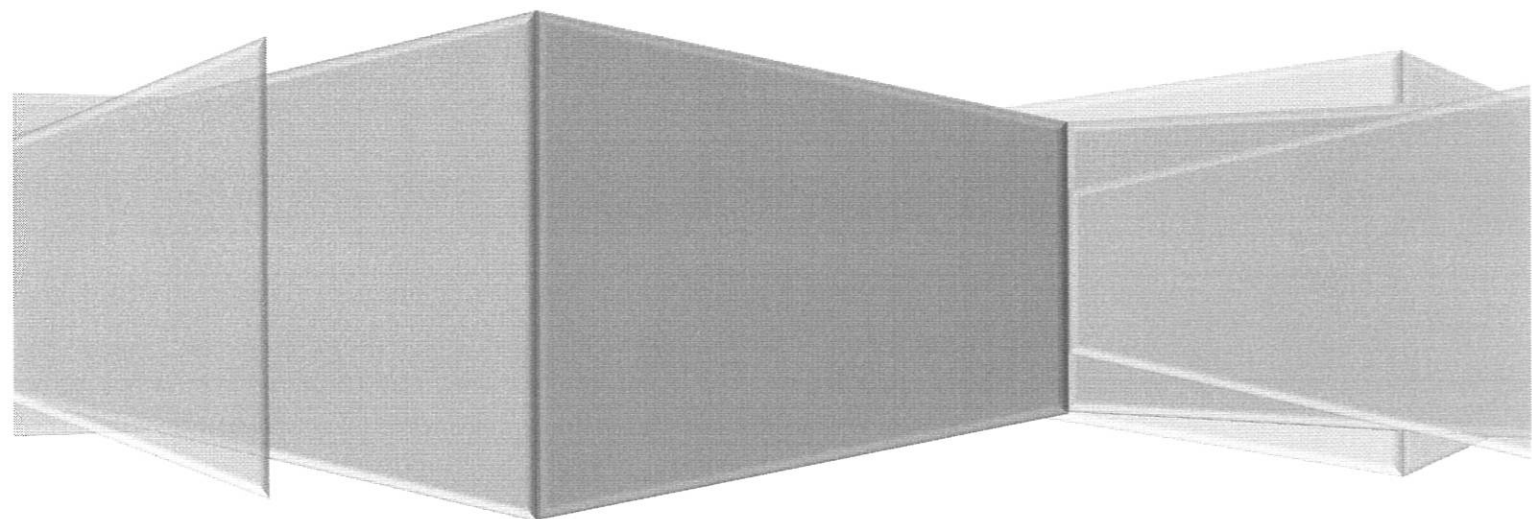


地域貢献等研究推進事業  
幼児の電子メディア接触と生活実態調査  
＜第1報＞  
～2019年度調査分析から～



宮崎県立看護大学 看護研究・研修センター

子どもとメディアみやざき

2020年9月



## 目次

1. 調査概要	.....1
2. 全体の概要	.....2
3. 詳細分析	.....11
資料：調査用紙	.....20

\*\*\*\*\*

### 参考資料

【報告】2019年度子どもとメディアみやぎ第2回フォーラム  
.....24

【再掲】子どもの電子メディア接触に関する保護者の意識  
—認定こども園などに通う子どもの保護者を対象に—  
日本小児看護学会誌, Vol28, 325-332, 2019.  
.....34

\*「2017年度認定こども園などに通う子どもの保護者対象の調査結果」です

## 「幼児の電子メディア接触と生活実態調査」について

宮崎県立看護大学と「子どもとメディアみやざき」は 2019 年度地域貢献事業として、宮崎市内の幼児の電子メディア接触と生活実態調査結果を行いました。2017 年度に行った実態調査は、宮崎県内認定こども園等に通っている子どもの保護者が対象でした。その調査結果から、平日・休日ともに、子どもの電子メディア接触時間が平均 3 時間から 4 時間という実態が明らかになりました。そこで、通園している限局された子どもだけではなく、通園していない子どもの電子メディア接触時間と生活習慣に関する実態を明らかにする必要性を感じ、本調査に取り組み、宮崎県立看護大学、子どもとメディアみやざき実態調査部会、統計の専門家を加えアンケート調査を実施しました。

本調査は、幼児健康診査を受診する保護者の方を対象に実施いたしました。本調査にご協力頂きました宮崎市福祉部子ども未来局親子保健課および保護者の皆様、本当にありがとうございました。

今回、コロナウィルス感染症予防対策の影響で、3密を避けるため、2020 年 3 月以降幼児健診への立ち入り制限があり、目標数の回収はできず 2020 年 2 月までのデータとなりました。分析対象は少ないのですが、地元宮崎の調査結果に基づく分析は、今後の地域の子育て支援の在り方にも示唆を与える内容があります。ここに分析結果を報告します。

宮崎県立看護大学  
子どもとメディアみやざき  
実態調査部会長 甲斐 鈴恵

### 【1】調査概要

1. 調査主体:宮崎県立看護大学
2. 研究協力機関  
子どもとメディアみやざき  
宮崎市子ども未来局親子保健課
3. 調査期間:2019 年 11 月～2020 年 2 月  
\*800 世帯を目標としていたが、健診立ち入りの目処が立たず、2 月で調査終了とした
4. 対象:宮崎市乳幼児健康診査(1 歳半健診、3 歳半健診)を受ける子どもの保護者  
宮崎市内 2 地区を対象(462 世帯)
5. 調査方法:  
幼児健康診査日、子どもとメディアみやざきの啓発者および雇い上げ職員が、保護者へ説明書と電子メディアに関する調査用紙の入った封筒を保護者へ手渡す。  
調査用紙記入後、当日回収箱回収、または、後日、看護大学宛てに郵送する。

6. 調査内容:

- ①同居する家族数、 ②子ども数、 ③子どもが日中過ごす場所(自宅、こども園、幼稚園、保育園、その他)、④起床・就寝時間、 ⑤朝食接摂取の有無(子ども、大人)、 ⑥子どもへの語りかけの頻度、 ⑦子どもの電子メディア利用場面、利用時のルール、 ⑧夕食時の電子メディア接触の有無、 ⑨電子メディア機器のゲームの頻度(子ども、大人)、 ⑩メディアコントロールデーの有無、 ⑪電子メディア接触による良い影響・悪い影響、 ⑫電子メディア接触時間(子ども、大人)

7. 研究対象者への説明と同意

調査で取扱う情報は、匿名化された情報であり、対象者を特定できる情報を含まないように配慮した。目的以外に、得られた対象者の情報等を使用しないこと等を説明書にて、説明した。調査用紙の提出をもって、同意を得たこととした。

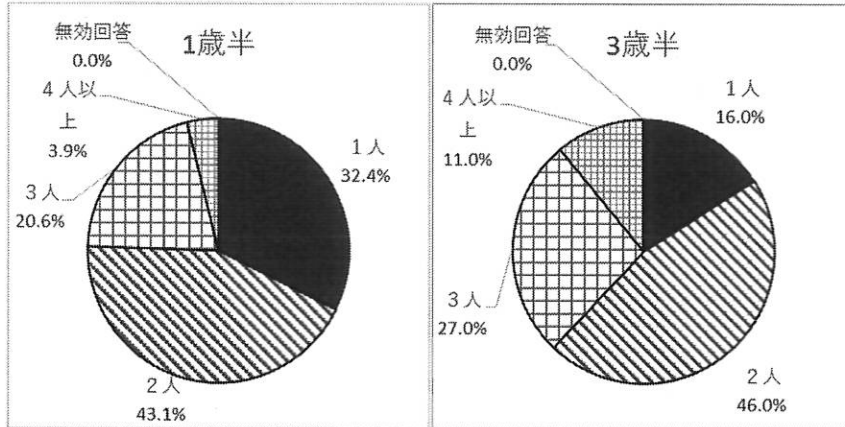
【2】 調査結果

調査対象者

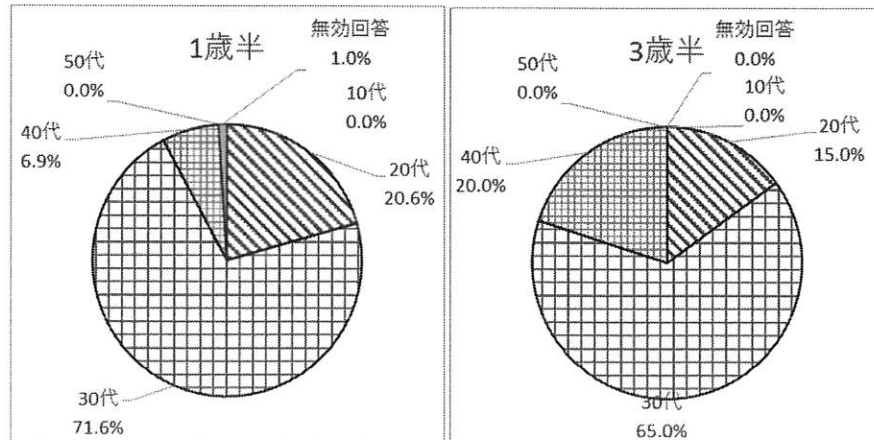
1歳6か月	102世帯/246世帯 (回収率 41.5%)
3歳6か月	100世帯/216世帯 (回収率 46.3%)

【3】 全体の概要

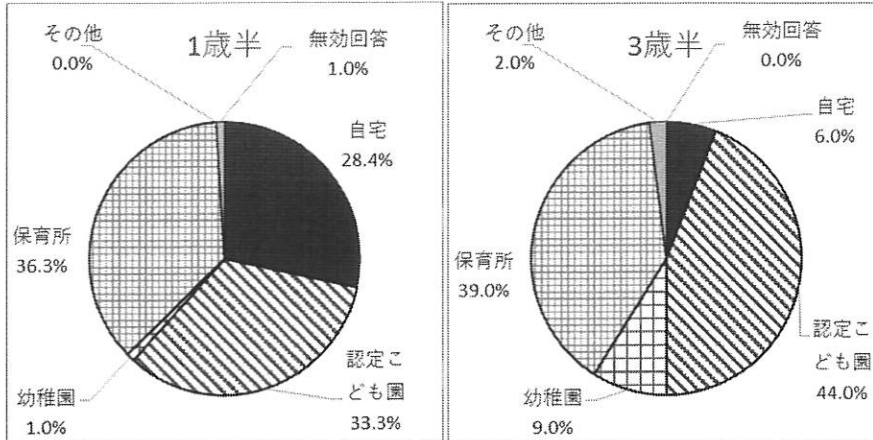
1. きょうだい数



2. 保護者(回答者)の年齢構成

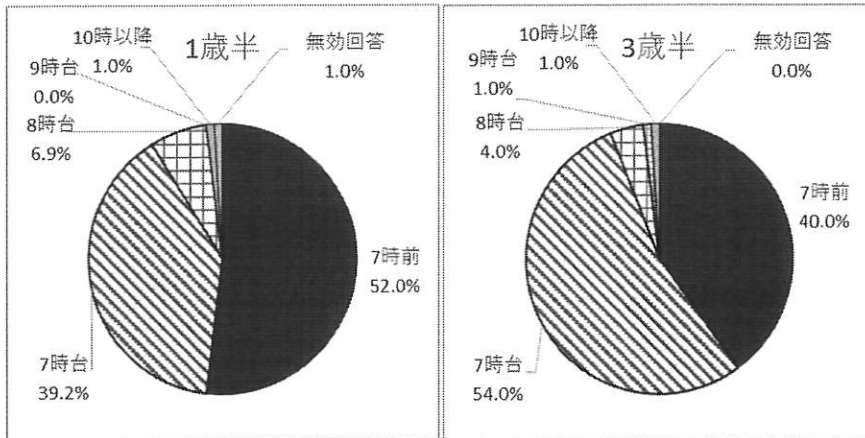


### 3. お子様が日中過ごしている場所

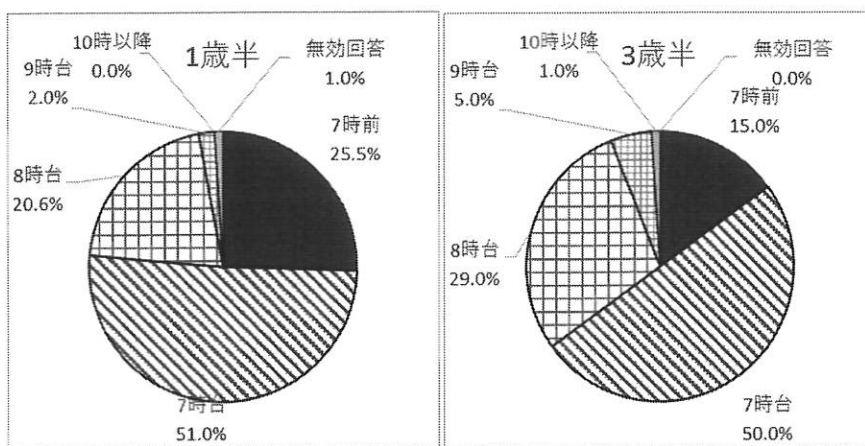


### 4. お子様が平日・休日起きる時間

<平日>

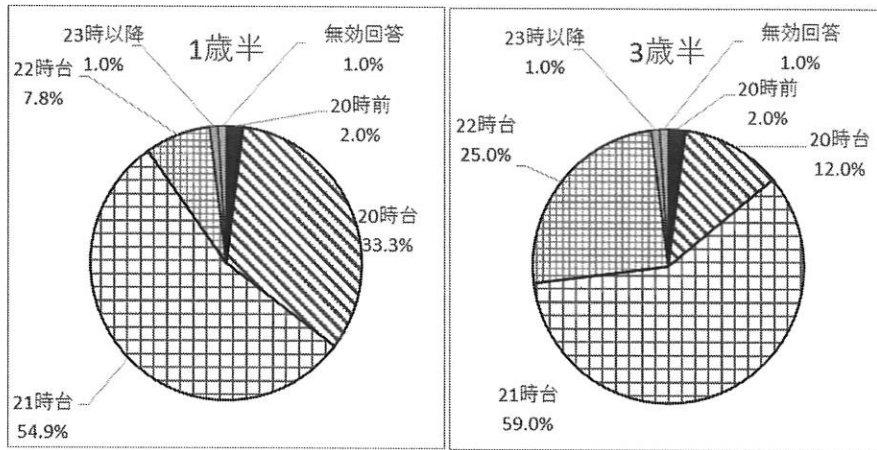


<休日>

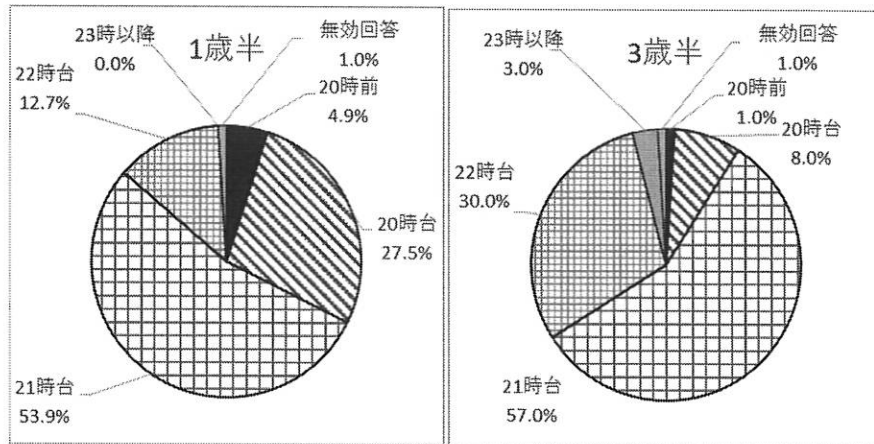


5. お子様と保護者の方の朝食摂取について

<平日>

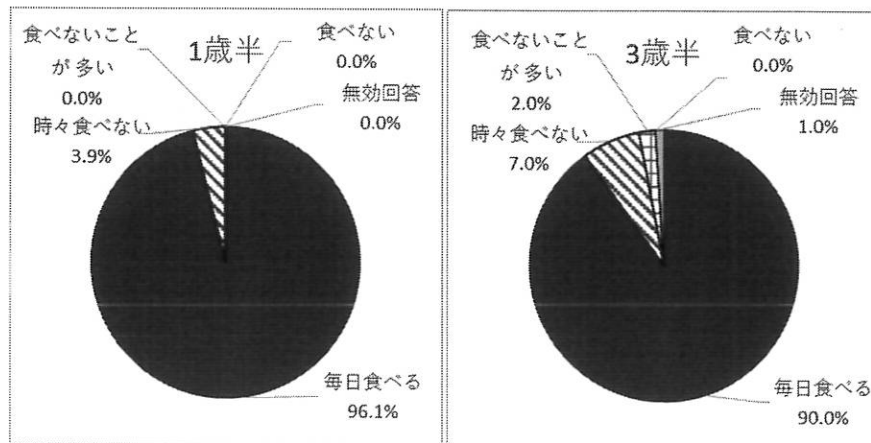


<休日>

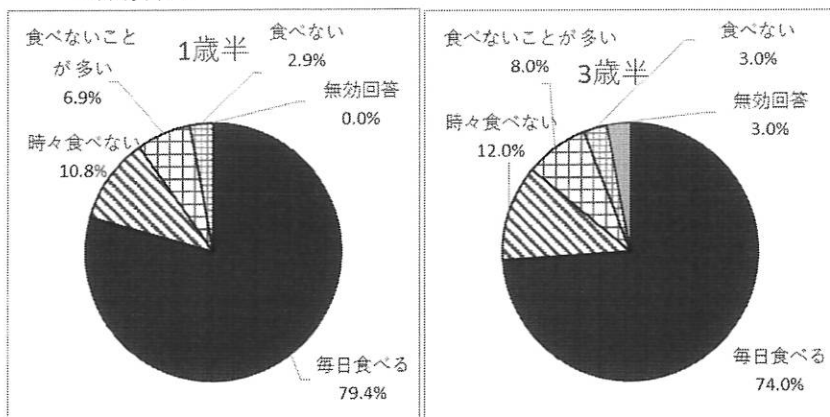


6. お子様と保護者の方の朝食摂取について

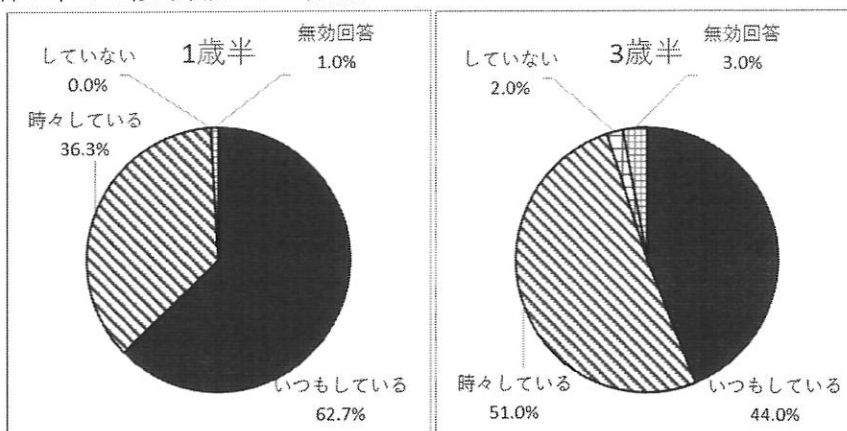
<お子様>



<保護者>

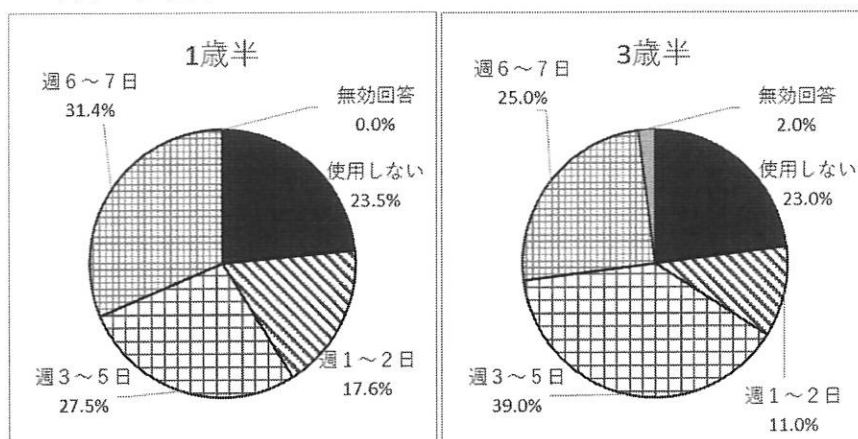


7. 普段の生活の中での読み聞かせの有無について



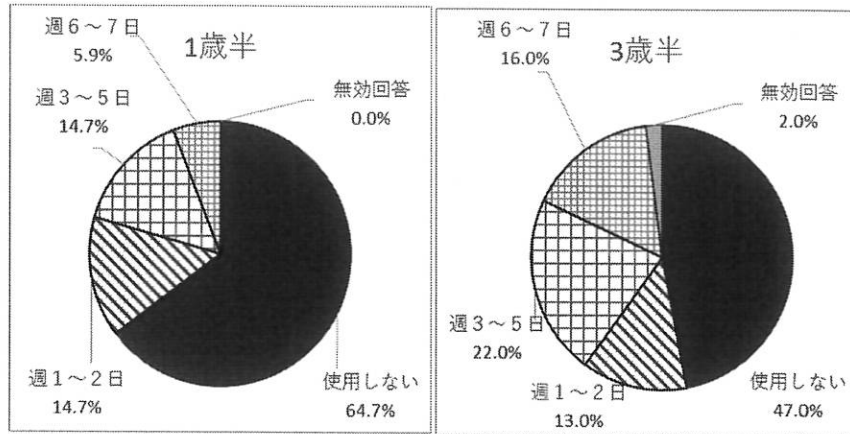
8. 電子メディアの使用頻度等について

<食事の支度中>

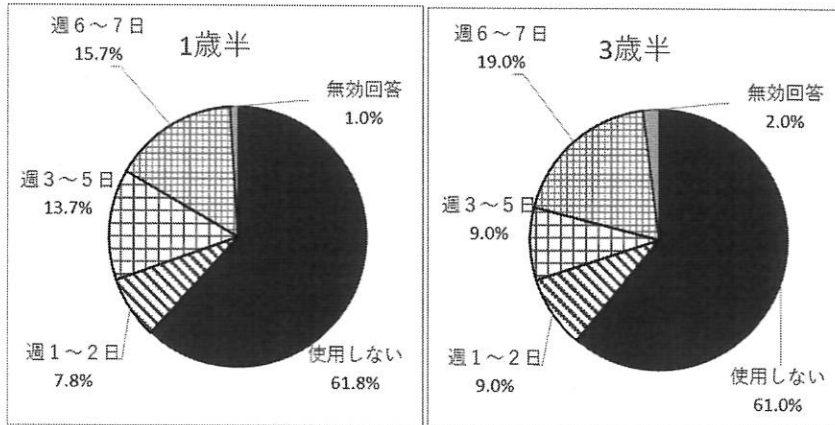




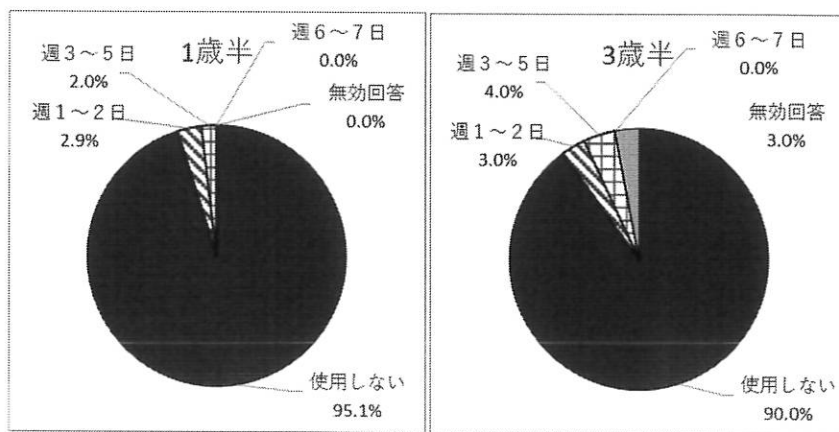
<車の移動中>



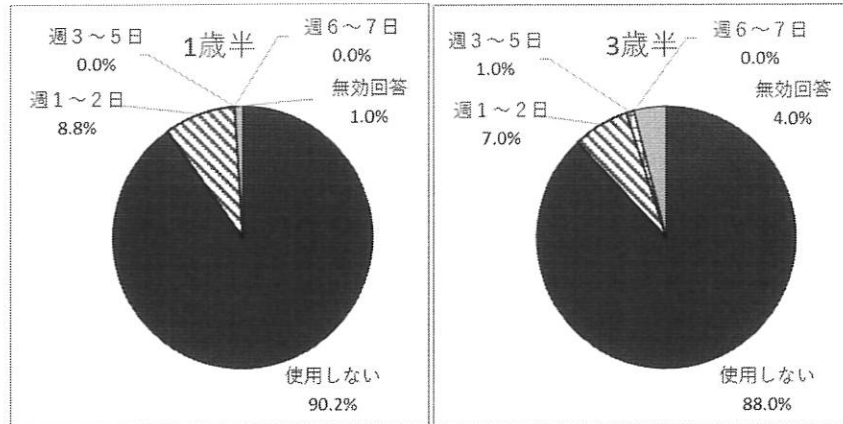
<食事中>



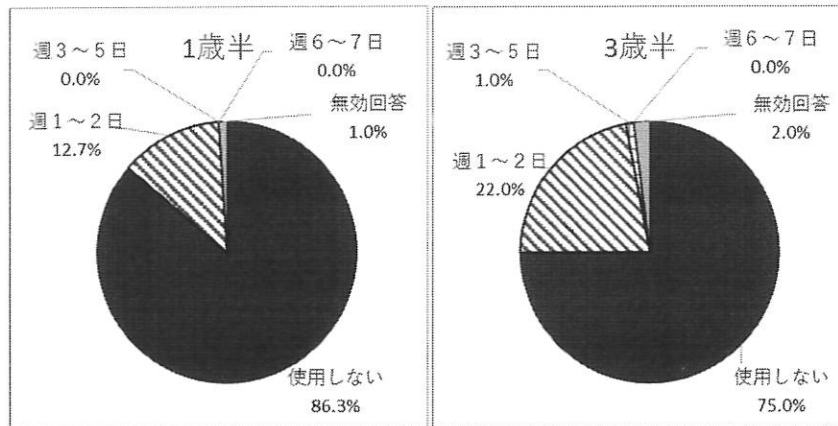
<買い物中>



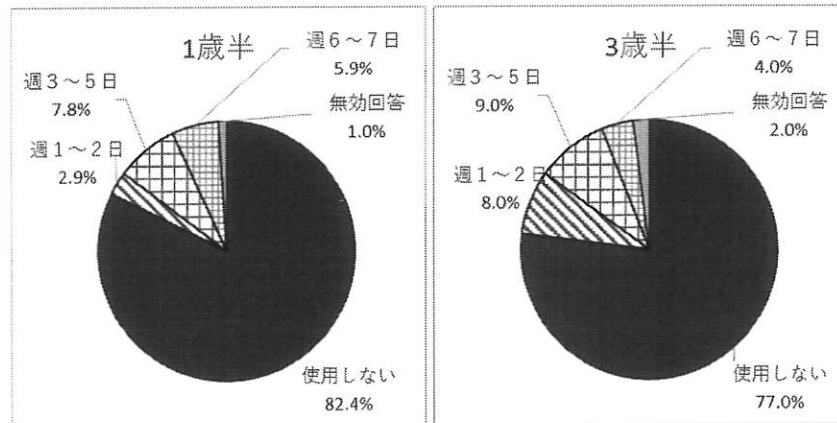
< 外食中 >



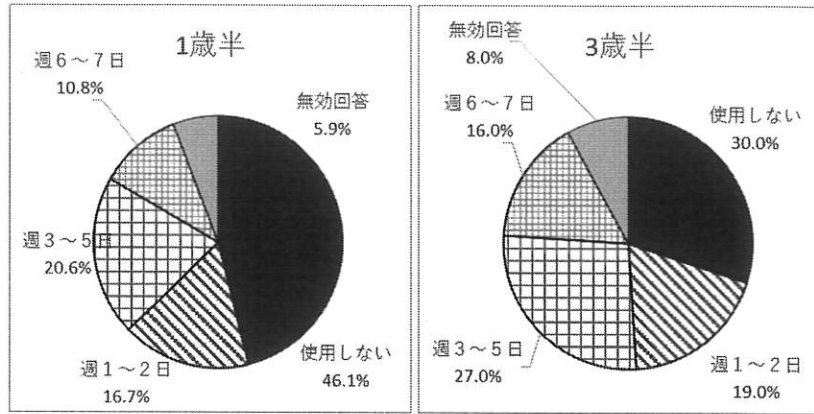
< 待ち時間(病院など) >



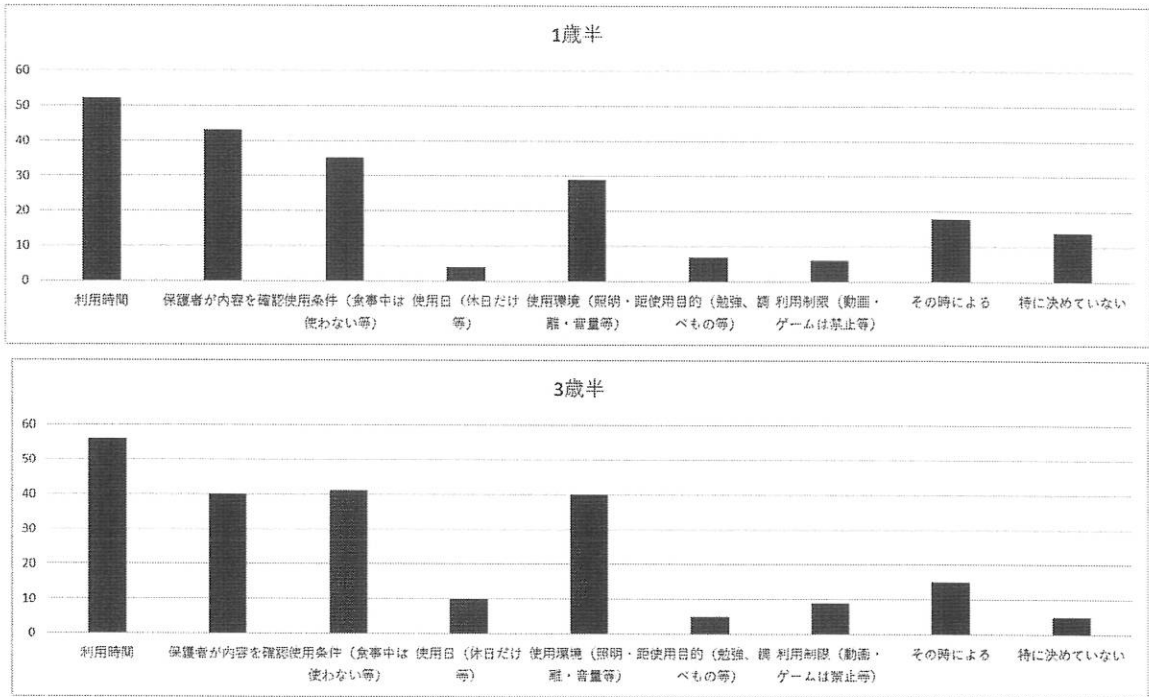
< 起床時 >



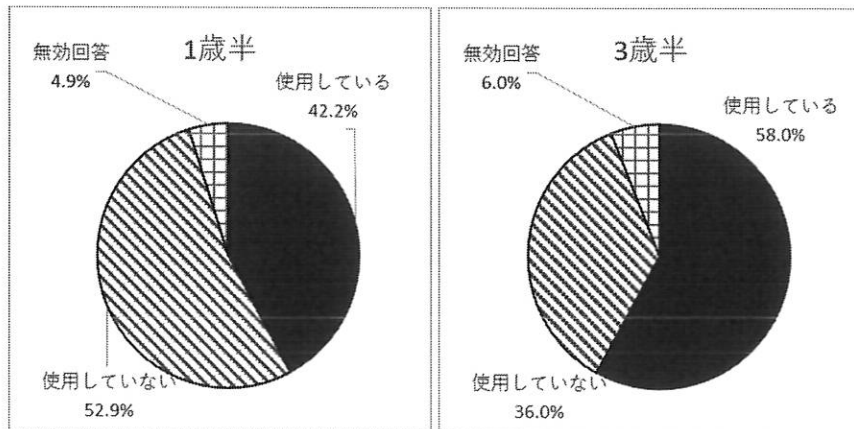
<寝るまでの時間>



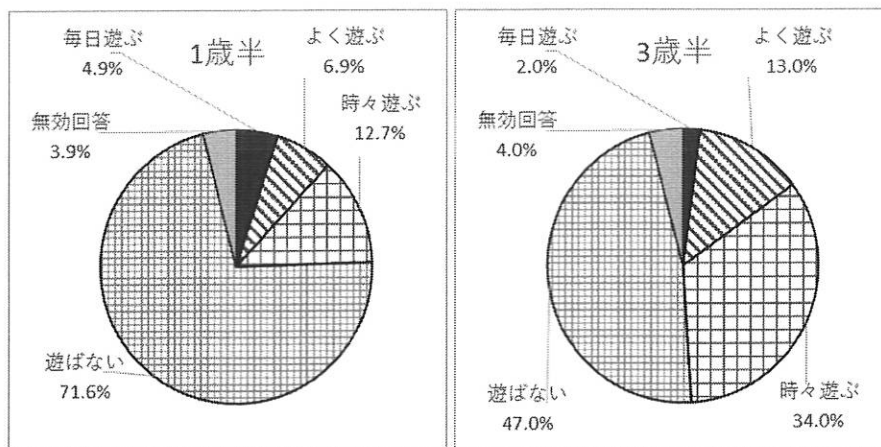
9. 電子メディア使用時のルールについて



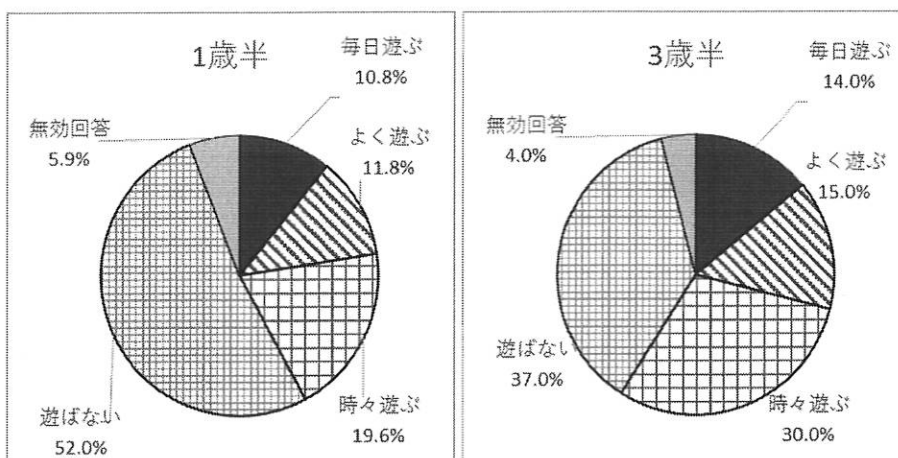
10. お子様のスマホ・タブレット使用について



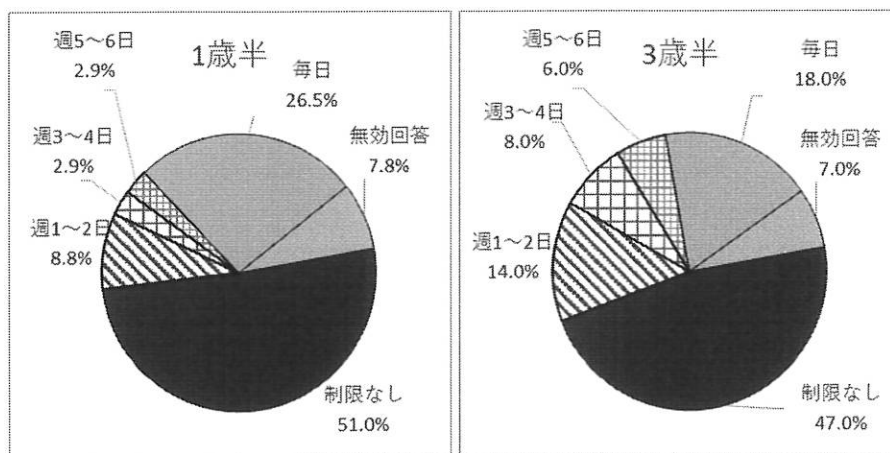
1 1. お子様のパソコンやスマホ、ゲーム専用機などのゲーム（アプリを含む）遊びについて



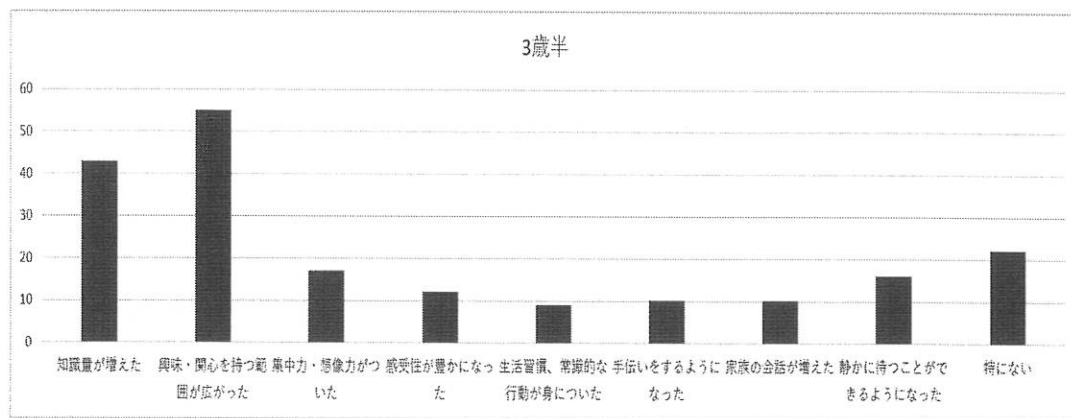
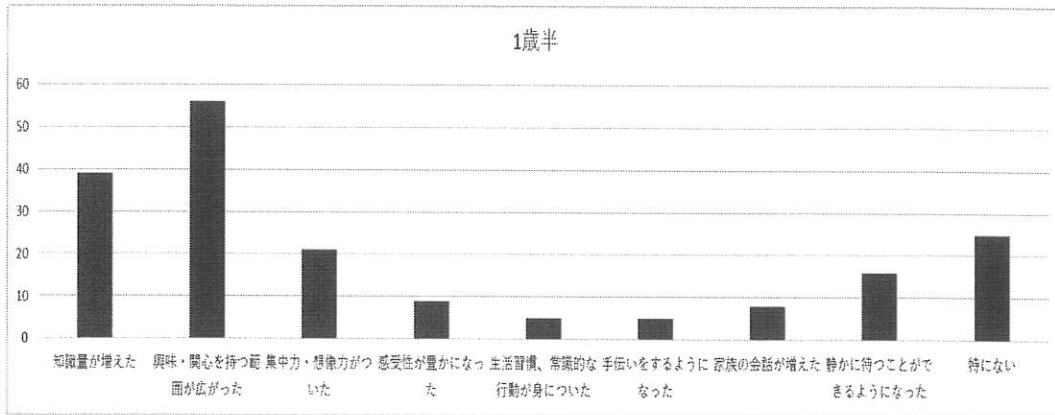
1 2. 大人の方のゲーム（アプリを含む）遊びについて



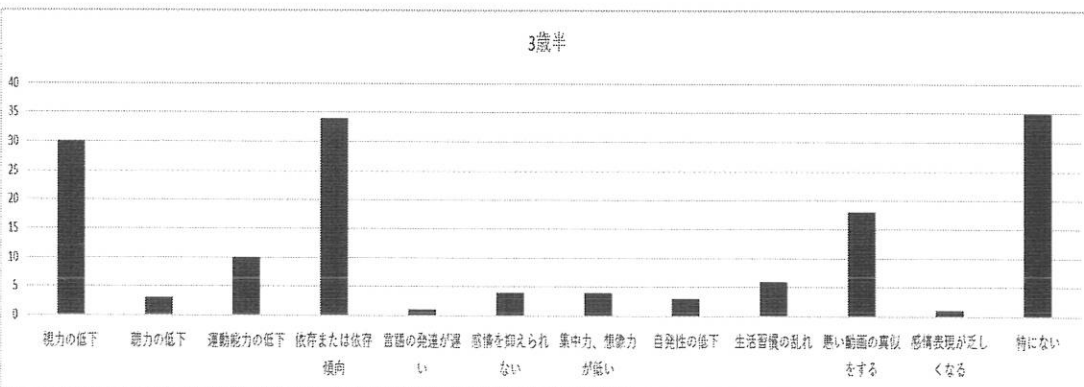
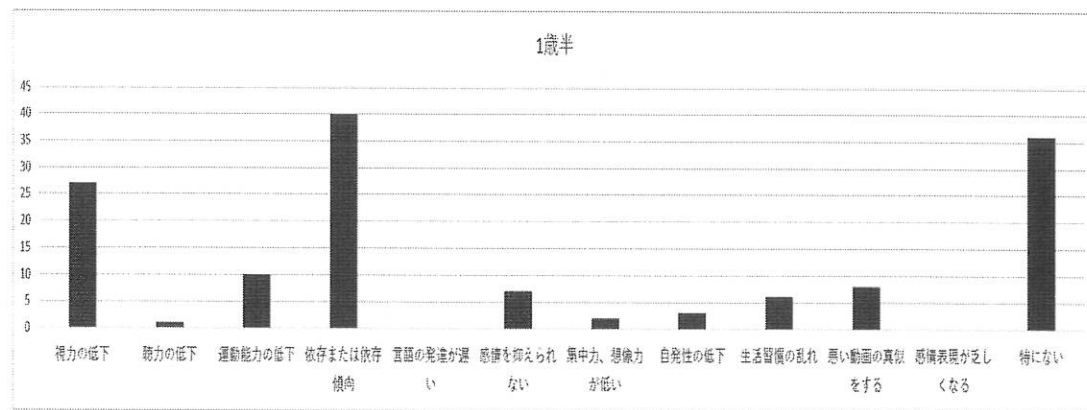
1 3. メディアコントロールデー（時間を制限している日、電子メディアを使わない日）の設定について



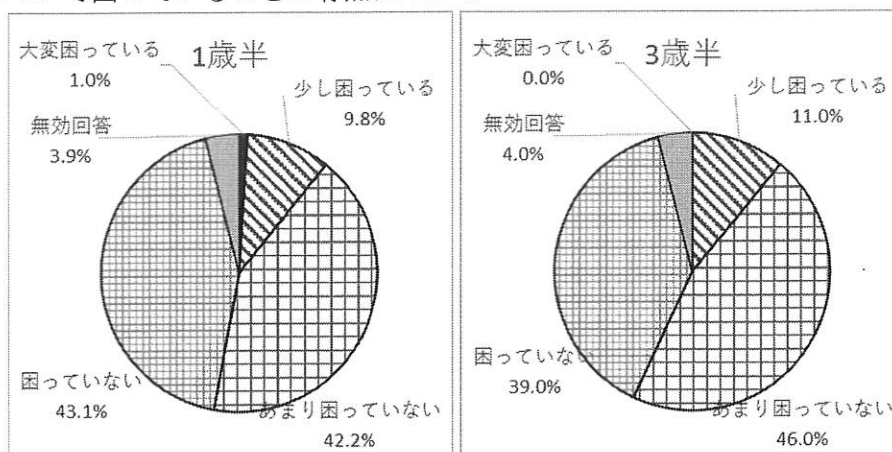
1 4. お子様が生電子メディアを使って、今現在、良い影響があると感するものについて



1 5. お子様が生電子メディアを使って、今現在、悪い影響があると感するものについて



## 16. 子育てについて困っていることの有無について



### 【4】2019年度調査結果詳細分析

#### 1. 子どもが日中過ごす場所

自宅で過ごす子どもの回答世帯数が多くなることを期待したが、今回の調査結果では、自宅で過ごす子どもの割合が1歳6か月児で28.4%、3歳6か月児で6.0%であった。

上記の結果から、認定こども園および幼稚園、保育所で日中過ごす子どもの特徴は、前回調査のこども園のみの調査結果と類似するものになるのではないかと予想した。そこで、対象群は全く同じではないが、2年前のデータと比較することで、電子メディア接触と生活実態が明らかになると仮定し分析を開始した。

#### 2. 電子メディア接触時間

##### 1) 全体

2017年度調査結果と比較すると、電子メディア接触時間は、1歳6か月児、3歳6か月児ともに、子ども全体の電子メディア接触時間が、60～90分程度減少していた。電子メディアに接触している子どものみで比較すると、40分～50分程度減少していた。この結果から、本調査に回答した世帯は、電子メディア接触が少ない世帯であること、さらに、全く電子メディアに接触させない世帯が多くを占めていることが明らかになった。

母集団が少ないことも事実であるが、子どもの年齢が上がるにつれて、電子メディア接触時間数が増えている。この事実は、前回と同様の傾向である。また、平日より、休日の電子メディア接触時間数が増加していることも明らかとなった。

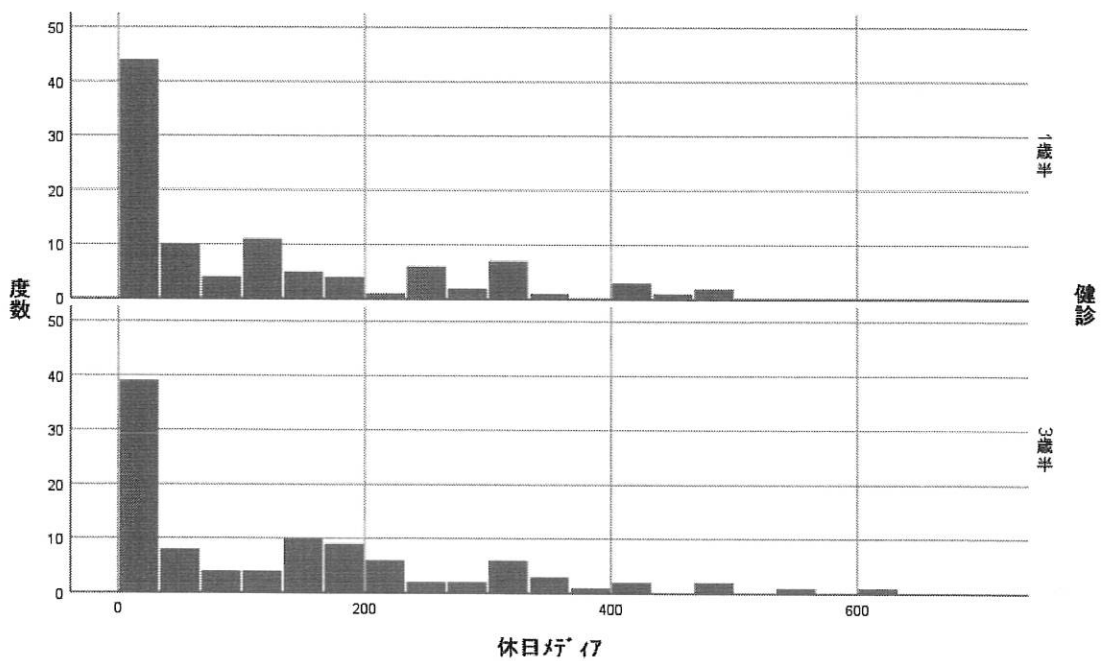
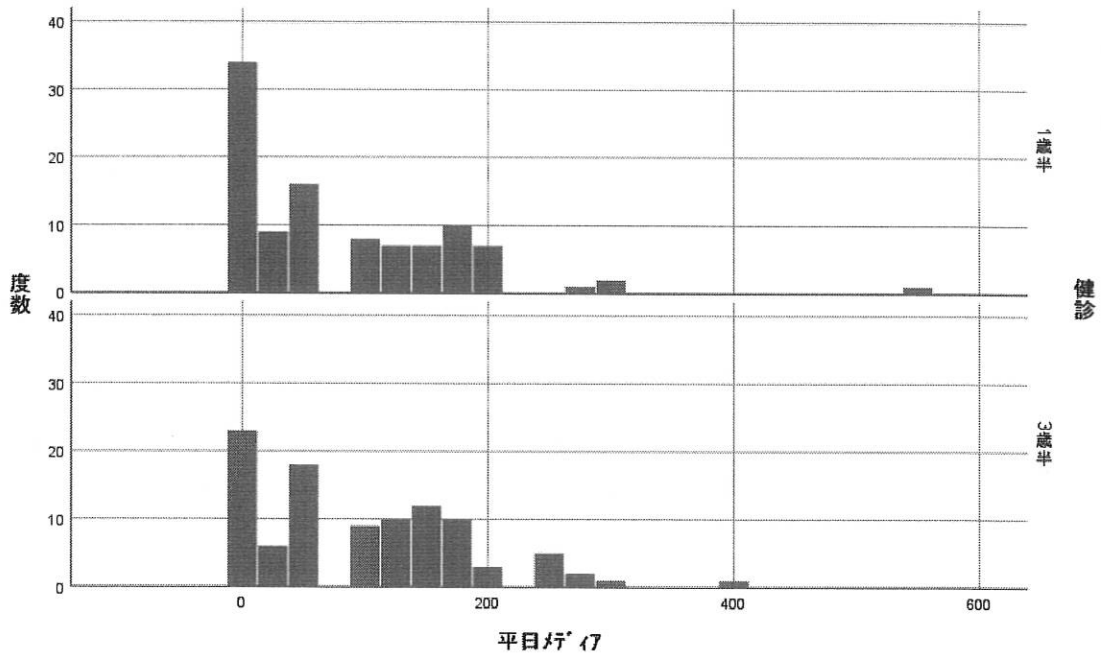
全体		2019年度 (分)	2017年度 (分)	接触している子ども(0分を除く)		2019年度 (分)	2017年度 (分)
平日	1歳6か月	82.8	139.0	平日	1歳6か月	123.0	164.0
	3歳6か月	99.8	164.0		休日	1歳6か月	178.4
休日	1歳6か月	108.8	179.0	休日		3歳6か月	202.8
	3歳6か月	134.0	226.0				

2)平日と休日の電子メディア接触時間

\*横軸の接触時間は、分で示す。

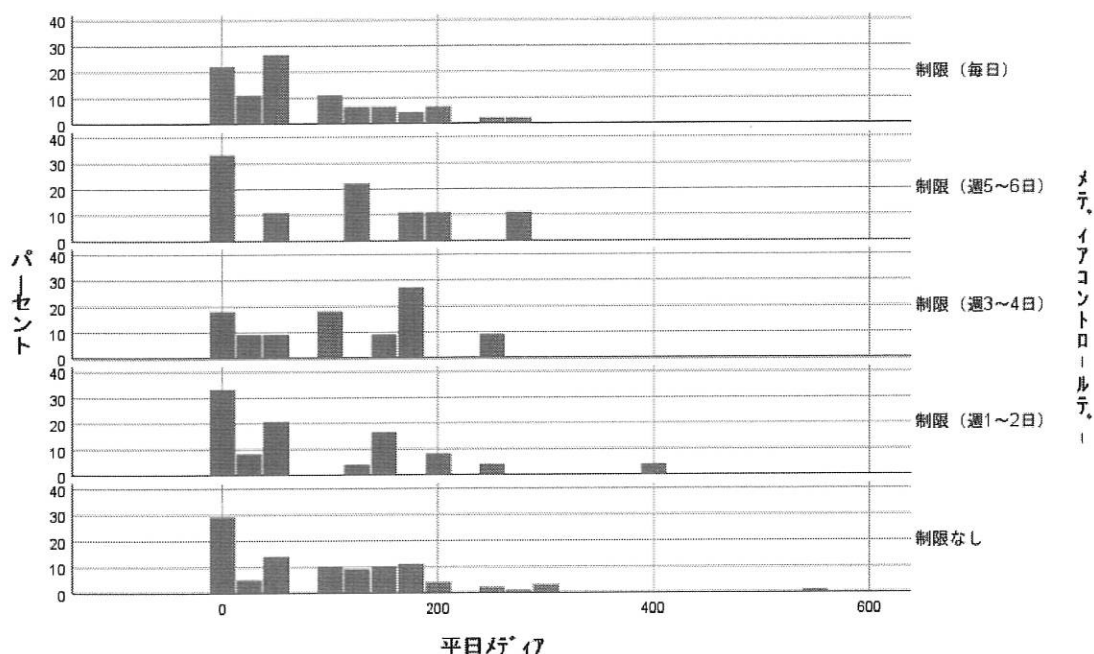
接触時間の特徴としては、全く接触していない子どもの割合が、平日より休日に増加していた。

一方、それ以外の子どもについては電子メディアの長時間接触が増える傾向もある。1歳6か月児と3歳6か月児ともに、同様の傾向であり、これは、2017年度の結果と同様の傾向であった。



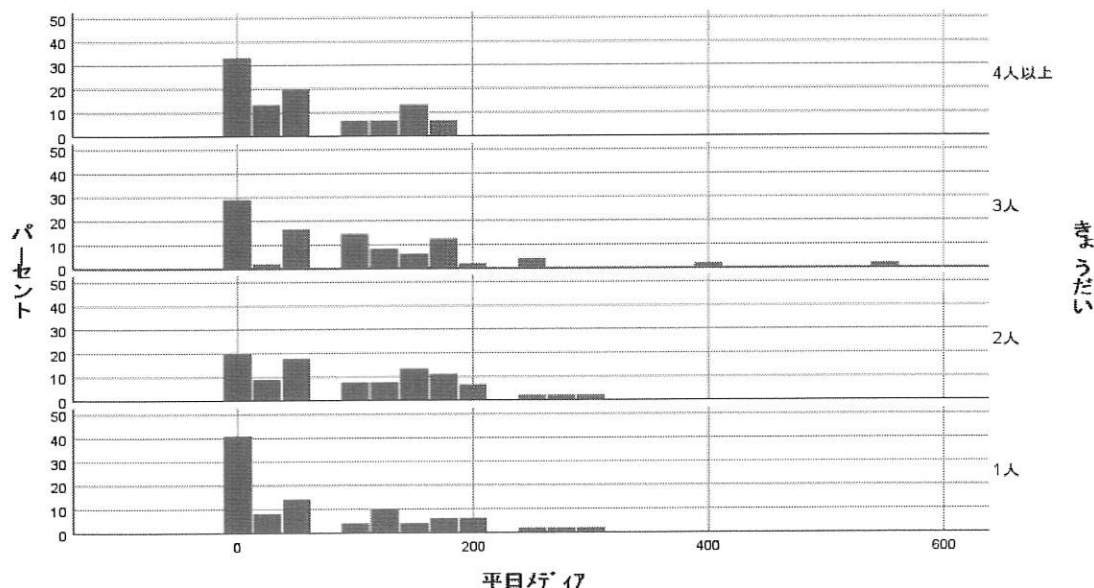
### 3)メディアコントロールデーの有無による影響

「時間を制限している日」「電子メディアを使わない日」を各世帯でもうけているか尋ね、その違いによる接触時間の分析を行ったが、メディアコントロールデーの有無にかかわらず有意差はなかった。



### 4)きょうだいの有無による影響

2017年度調査結果と今回の調査結果の比較から、子どもが1歳を超えると電子メディア接触時間は同じパターンであり、きょうだいの有無による明らかな差は認められなかった。

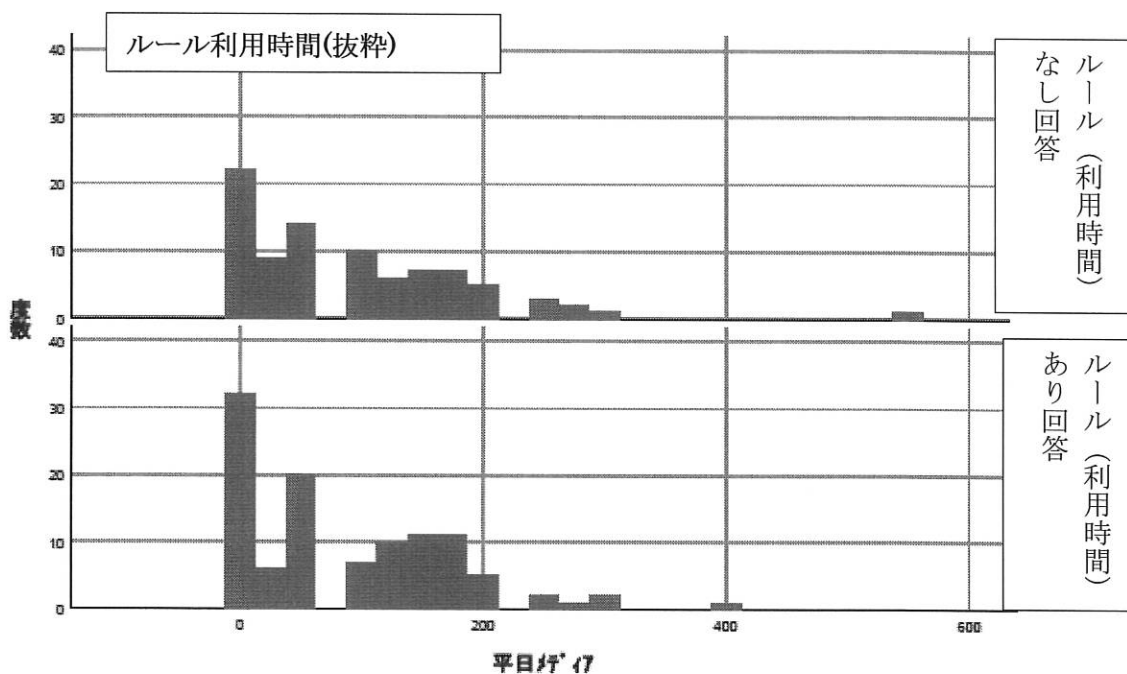




### 5)電子メディアを使うときのルールの有無による影響

「利用時間」「保護者が内容を確認」「使用条件がある」「使用日が決まっている」「使用環境(照明・距離・音量 等)」「使用目的」「利用条件がある」「その時の状況による」「特に決めていない」によって、電子メディア接触時間を分析したが、明らかな傾向はなかった。

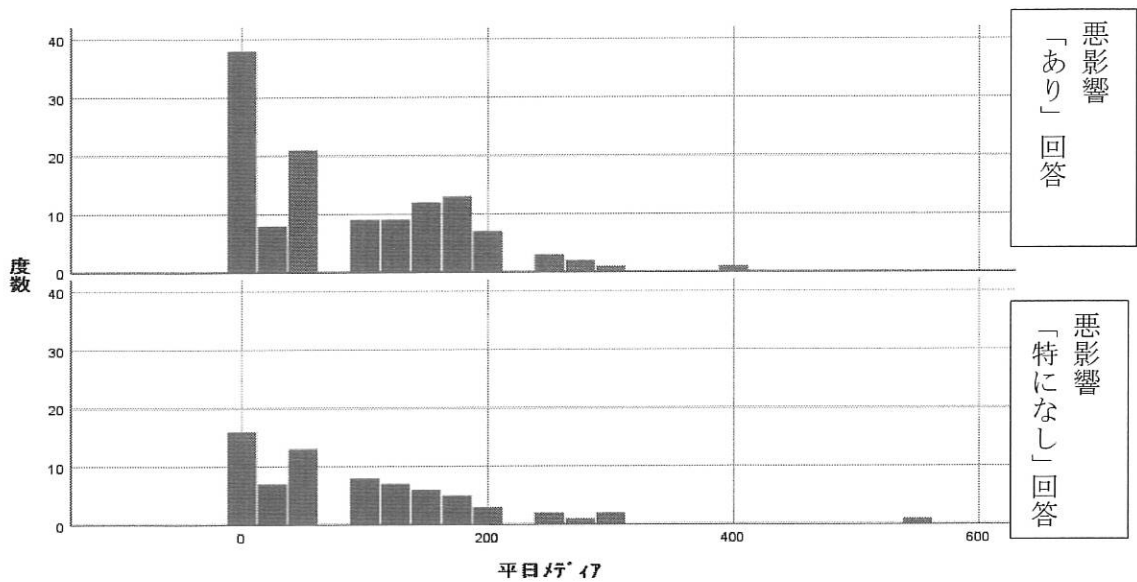
「利用時間」をルールとしている世帯で詳細をみつめると、60 分内の対照群と 90 分～210 分の対照群、240 分以上の対照群、さらに、400 分の接触世帯があることがわかった。



### 6)電子メディア接触による、悪い影響(現在)の有無による影響

「視力の低下」「聴力の低下」「運動能力の低下」「依存または依存傾向」「言語の発達が遅い」「感情を抑えられない」「集中力、想像力が低い」「自発性の低下」「生活習慣の乱れ」「悪い動画の真似をする」「感情表現が乏しくなる」では、「視力の低下」「依存または依存傾向」を意識した世帯が他の項目と比較して多くの割合を占め、60 分内の接触世帯が認められた。しかし、60 分を超えると、電子メディア接触時間の傾向に大きな差はなかった。他の項目については、ほとんどの世帯が、悪い影響と回答していなかった。

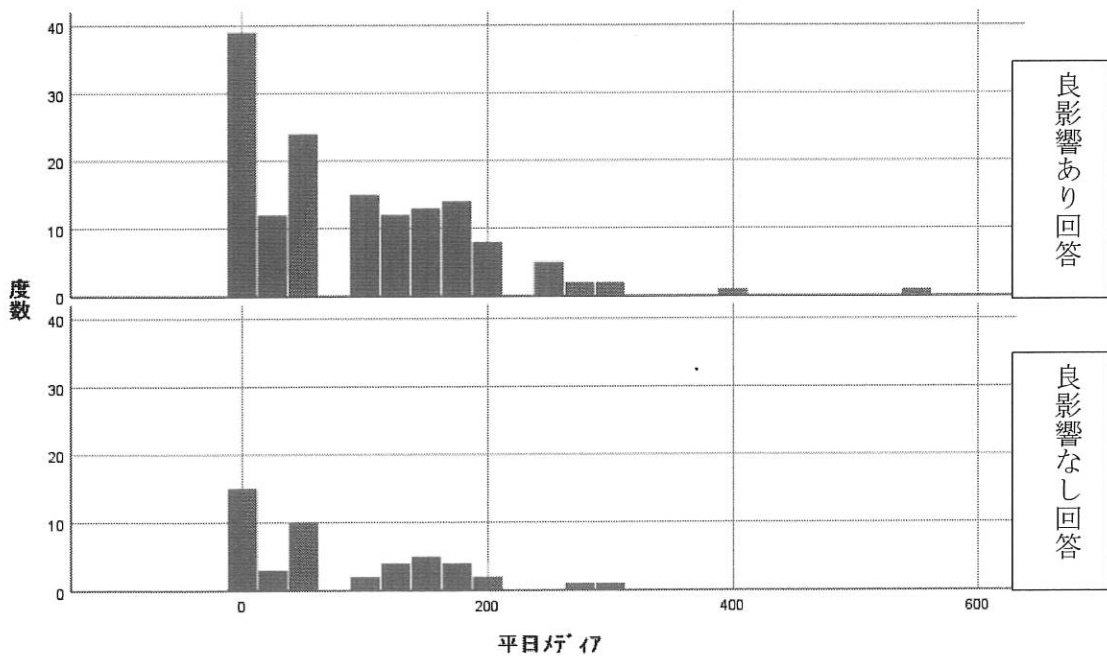
悪影響について「特になし」と回答している世帯が多くを占めていた。「特になし」と回答した世帯においても、電子メディア接触時間は 0 分の世帯が多くを占めている。このことから、実際には、悪影響がないがいろいろな知識や情報から悪影響があることを知っており使用していないこと、または、以前電子メディア接触があったが何らかの悪影響を感じ使用を制限することで今現在悪影響がない状態であることなどが推測される。

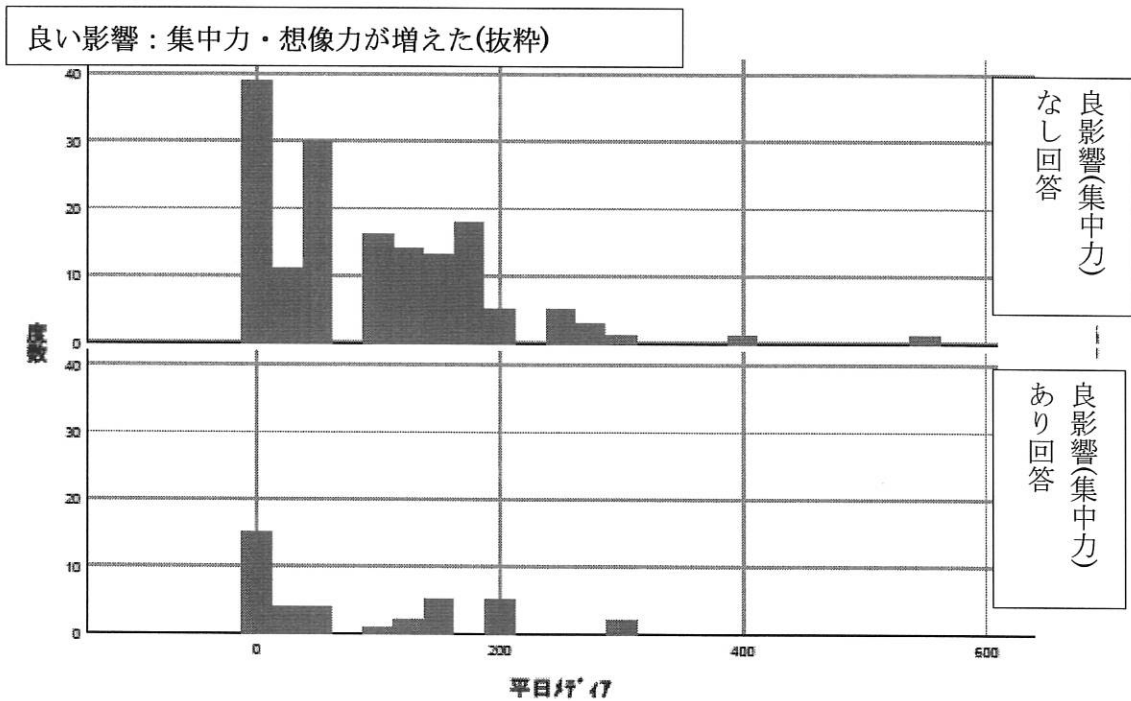
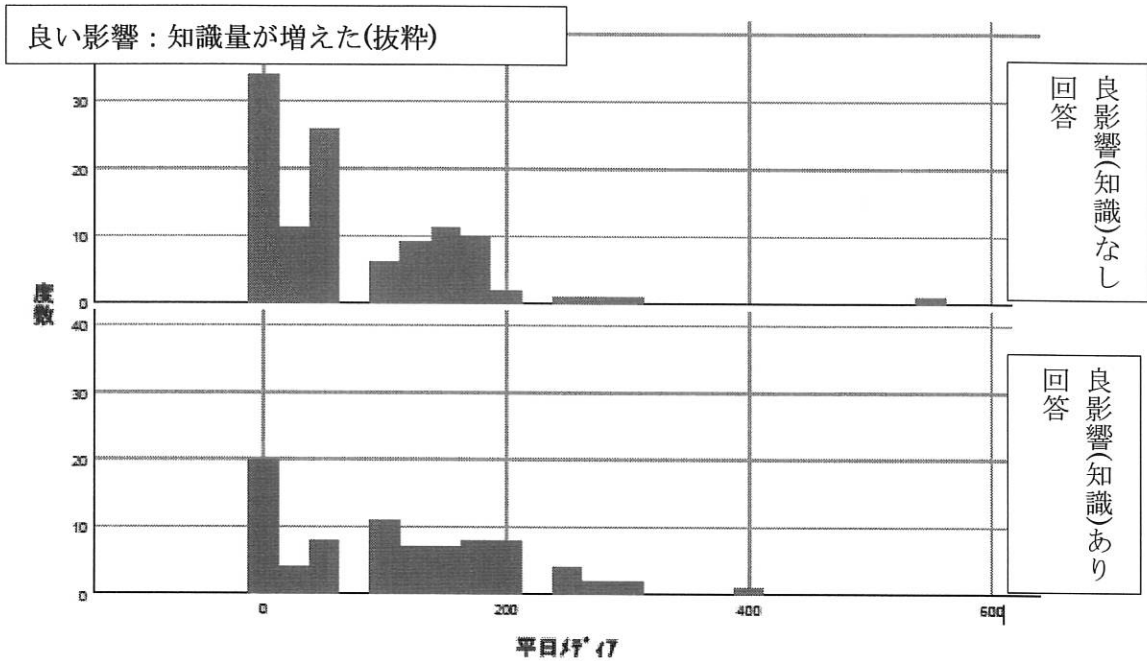


7) 電子メディア接触による、よい影響(現在)の有無による影響

「知識量が増えた」「興味・関心を持つ範囲が広がった」「集中力・想像力がついた」「感受性が豊かになった」「生活習慣、常識的な行動が身についた」「手伝いをするようになった」「家族会話が増えた」「静かに待つことができるようになった」では、「知識量が増えた」「興味・関心を持つ範囲が広がった」を意識した世帯が他の項目と比較して多くの割合を占めた。電子メディア接触時間は60分内の対照群が認められた。90分～210分の対照群、240分以上の対照群、さらに、400分の接触世帯があることがわかった。

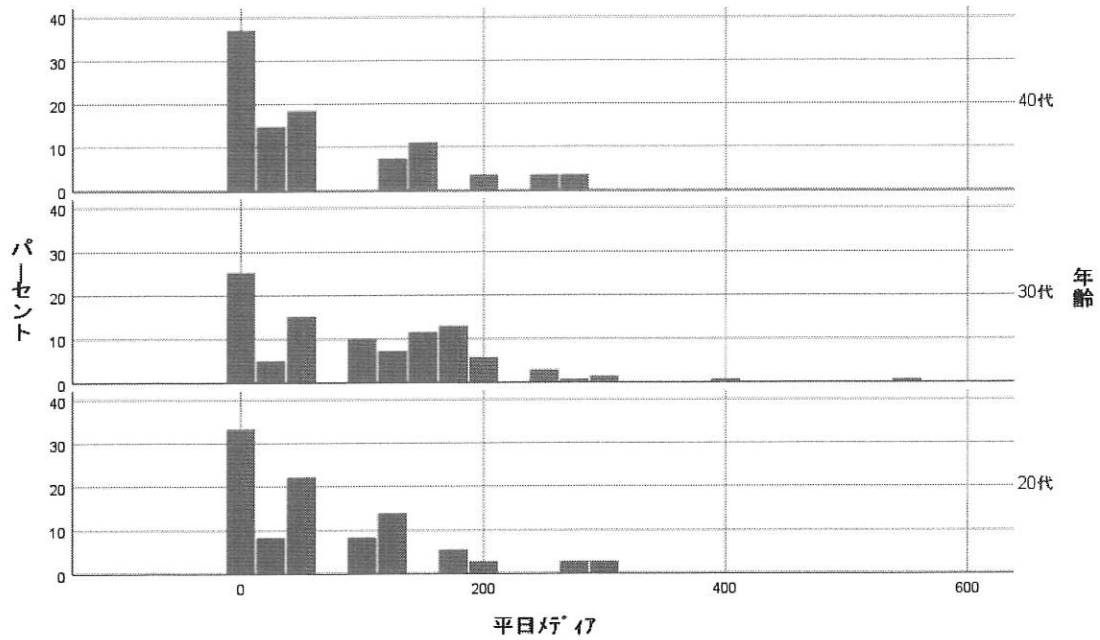
よい影響は「特にない」と回答している世帯より、よい影響があると意識している世帯の割合が高いこともわかった。





8)保護者の電子メディア接触時間との関係

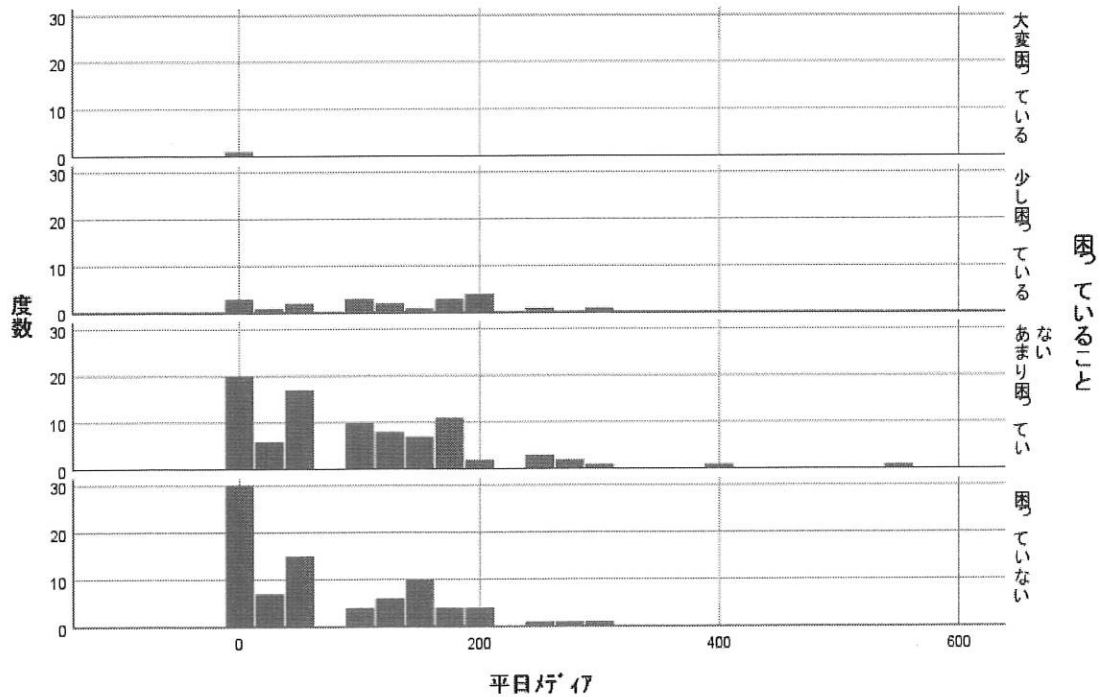
親の電子メディアへの接触時間が長くなればなるほど、子どもの接触時間も長くなっている。両者には有意な相関関係があることが明らかになった。保護者と子どもの電子メディア接触時間は、保護者の接触時間約 300 分(5 時間)までの正の相関関係があることがわかった。



9) 子育てにおける困りごとの有無による影響

「困っていない」「あまり困っていない」と回答した世帯が半数以上を占めていた。「少し困っている」と回答した若干の世帯は、電子メディア接触時間が0分から300分までを同様の割合で占めていた。

「大変困っている」と回答した1名は、電子メディア接触時間が0分であった。



## 10)生活習慣との関係

2017 年度の調査結果のような著明な傾向は認められなかった。今回の結果では、早寝・早起きの生活リズムが形成されていた。その中でも、就寝時間が遅くなると電子メディア接触時間が長時間化する子どもが若干認められた。23 時以降の就寝の子ども数の母数が少ないため、分析は難しい。

朝食は「毎日食べる」の世帯が大半であった。

## 11)分析結果から

電子メディア接触時間が 1 歳 6 か月児、3 歳 6 か月ともに 80 分から 90 分であった。WHO は 2019 年に、1～2 歳および 3～4 歳の子どもの身体活動や座りがちな行動について、下記の内容(資料1)を提言している。これらの対象年齢は、電子メディアや座りがちな行動として拘束されている時間を 1 時間以内と推奨していることから、電子メディア接触時間はやや超えてはいるが、比較的近い接触時間帯であることがわかった。

回収率が 40%であることから、全世帯を正確に把握できていないことも推測されるが、今回の調査結果では、1 歳 6 か月児、3 歳 6 か月児ともに、2017 年度調査と比較しても理想に近い電子メディア接触時間であった。

WHO は、5 歳未満の子どもは、1 日に 1 時間以上、座ってタブレットなどの画面を見るべきではない」というガイドラインを発表しているため、今回の調査以降の年齢の子どもが引き続き、電子メディアに接触する時間を 1 時間未満に制限できるような啓発活動を行っていく必要がある。

今回の調査対象年齢では、電子メディアによる悪い影響は、著明に現れておらず、保護者も悪い影響より良い影響を感じている傾向があった。そのため、ルール作りやルールを守るという面についての意識が低い状況になっていると感じられる。実際は、長時間の電子メディア接触が続くと、心身への悪影響があることが複数の研究で明らかになっているため、現在の電子メディア接触状況や使用状況や使用環境を維持できるよう(悪化しないよう)、保護者へ情報発信を行っていく必要がある。

2017 年度調査結果と同様、親の生活態度が、子育て環境にも影響を与えることが明らかになった。今回の調査対象群は、電子メディアに長時間接触している世帯が少なかったため、全体的に、良好な生活習慣を送っている傾向が認められた。親子がともに朝食をとる生活習慣、早寝・早起きの生活習慣を維持できるよう引き続き支援を行っていく。

有効回答数が少ないことや、日中自宅で過ごしている子どもの割合が少なかったことから、全世帯の結果をすべて反映できているとは限らない。今後も、宮崎における乳幼児親子の実態が把握でき、子どもとメディアの問題に適切に対処できるように、官民の垣根を越えた関係各機関による連携を行い、必要な支援を行うことが重要である。

## 「WHO 提言 2019 年」の一部を抜粋要約

## children 1-2 years of age should:

Spend at least 180 minutes in a variety of types of physical activities at any intensity, including moderate- to vigorous-intensity physical activity, spread throughout the day; more is better.

Not be restrained for more than 1 hour at a time (e.g. prams/strollers, high chairs, or strapped on a caregiver's back) or sit for extended periods of time. For 1-year-olds, sedentary screen time (such as watching TV or videos, playing computer games) is not recommended. For those aged 2 years, sedentary screen time should be no more than 1 hour; less is better. When sedentary, engaging in reading and storytelling with a caregiver is encouraged.

Have 11-14 hours of good quality sleep, including naps, with regular sleep and wake-up times.



## children 3-4 years of age should:

Spend at least 180 minutes in a variety of types of physical activities at any intensity, of which at least 60 minutes is moderate- to vigorous-intensity physical activity, spread throughout the day; more is better.

Not be restrained for more than 1 hour at a time (e.g. prams/strollers) or sit for extended periods of time. Sedentary screen time should be no more than 1 hour; less is better. When sedentary, engaging in reading and storytelling with a caregiver is encouraged.

Have 10-13 hours of good quality sleep, which may include a nap, with regular sleep and wake-up times.



世界保健機関：

Guidelines on physical activity, sedentary behaviour and sleep for children under 5 years of age. License: CC BY-NC-SA 3.0 IGO

[http://www.who.int/iris/handle/](http://www.who.int/iris/handle/10665/311664)

[10665/311664](http://www.who.int/iris/handle/10665/311664)

(参照 2020 年 8 月 31 日)

## &lt;1~2 歳&gt;

1 日を通して最低 180 分のさまざまな身体活動を行うべきである (多い方がより良い)。

1 回につき 1 時間以上、乳母車やいす (ハイチェア)、おんぶ・だっこひもなどに拘束されないようし、長時間の座位は避けるべきである。1 歳児には、スクリーンタイム (テレビやビデオ鑑賞、コンピューターゲーム等) は推奨しない。2 歳児については、スクリーンタイムは 1 時間を超えるべきではない (少ない方がより良い)。座っている時には、世話をしている人が読み聞かせ等を行うことが推奨される。

一定の睡眠・起床時間で、11~14 時間の質の良い睡眠 (お昼寝を含む) をとるべきである。

## &lt;3~4 歳&gt;

1 日を通して最低 180 分のさまざまな身体活動 (そのうち 60 分は中程度から激しい運動) を行うべきである (多い方がより良い)。

1 回につき一時間以上、乳母車やいす等に拘束されないようし、長時間の座位は避けるべきである。スクリーンタイムは 1 時間を超えるべきではない (少ない方がより良い)。座っている時には、世話をしている人が読み聞かせ等を行うことが推奨される。

一定の睡眠・起床時間で、10~13 時間の質の良い睡眠 (お昼寝を含む) をとるべきである。



## 子どもの生活・メディアに関するアンケート

※マークシートは鉛筆で記入していただき、訂正する場合は消しゴムできれいに消してください。

※本日までの状況で、あてはまる項目の該当欄を黒く塗りつぶしてください。

※どうしても答えたくない項目は、飛ばして進んでください。

※今回健診を受けられるお子さんを対象としています。

※ここでいう「電子メディア」とは、「テレビ」「DVD」「ビデオ」「スマホ」「ゲーム」「タブレット」「パソコン」「携帯用音楽機器」等の電子デバイスをいいます。

### 1. お子さんご家族についてお伺いします。

(1) 今回の健診の対象はどちらですか？

- 1歳半       3歳半

(2) お子さんは何人ですか？

- 1人       2人       3人       4人以上

(3) 回答される方の年代をお答えください。

- 10代       20代       30代       40代       50代

### 2. お子さんご家族の日常生活についてお伺いします。

(4) 今回健診を受けられるお子さんは、日中はどこで過ごしていますか？

- 自宅       認定こども園       幼稚園       保育所       その他(祖父母宅等)

(5) 今回健診を受けられるお子さんは、平日は何時に起床しますか？

- 7時前       7時台       8時台       9時台       10時以降

(6) 今回健診を受けられるお子さんは、休日は何時に起床しますか？

- 7時前       7時台       8時台       9時台       10時以降

(7) 今回健診を受けられるお子さんは、平日は何時に就寝しますか？

- 20時前       20時台       21時台       22時台       23時以降

(8) 今回健診を受けられるお子さんは、休日は何時に就寝しますか？

- 20時前       20時台       21時台       22時台       23時以降

裏面へつづく



(9) 今回健診を受けられるお子さんは、朝ごはんを食べますか？

- 毎日食べる       時々食べない       食べないことが多い       食べない

(10) 大人の方は、朝ごはんを食べますか？

- 毎日食べる       時々食べない       食べないことが多い       食べない

(11) 大人の方はお子さん達に、いろいろな場面で話しかけていますか？（例：食事時、遊んでいる時等）

- いつも話しかけている       時々話しかけている       話しかけていない

(12) 普段の生活の中で、絵本の読み聞かせをしたり、お話をしていますか？

- いつもしている       時々している       していない

3. お子さんをご家族の電子メディアの使用頻度等についてお伺いします。

(13) 保護者の食事の支度中

- 使用しない       週1～2日       週3～5日       週6～7日

(14) 車の移動中

- 使用しない       週1～2日       週3～5日       週6～7日

(15) 買い物中

- 使用しない       週1～2日       週3～5日       週6～7日

(16) 食事中（普段の食事）

- 使用しない       週1～2日       週3～5日       週6～7日

(17) 食事中（外食）

- 使用しない       週1～2日       週3～5日       週6～7日

(18) 待ち時間（病院や待ち合わせ）

- 使用しない       週1～2日       週3～5日       週6～7日

(19) 起床時

- 使用しない       週1～2日       週3～5日       週6～7日





(20) 寝るまでの時間

- 使用しない       週1～2日       週3～5日       週6～7日

(21) お子さんに電子メディアを使わせるとき、どのようなルールがありますか？（複数回答）

- 利用時間       保護者が内容を確認       使用条件（食事中は使わない等）       使用日（休日だけ等）       使用環境（照明・距離・音量等）  
 使用目的（勉強、調べもの等）       利用制限（動画・ゲームは禁止等）       その時による       特に決めていない

(22) お子さんは、スマホ・タブレットを使用していますか？（保護者が動画等を見せている場合も含む）

- 使用している       使用していない

(23) お子さんはパソコンやスマホ、ゲーム専用機などでゲーム（アプリを含む）をして遊びますか？（子どもだけや保護者と一緒、友人と一緒に等）

- 毎日遊ぶ（週6～7日）       よく遊ぶ（週3～5日）       時々遊ぶ（週1～2日）       遊ばない

(24) 大人の方もゲーム（アプリを含む）をして遊びますか？

- 毎日遊ぶ（週6～7日）       よく遊ぶ（週3～5日）       時々遊ぶ（週1～2日）       遊ばない

(25) メディアコントロールデー（時間を制限している日、電子メディアを使わない日）を設けていますか？

- 制限なし       制限（週1～2日）       制限（週3～4日）       制限（週5～6日）       制限（毎日）

(26) お子さんが電子メディアを使って、今現在、良い影響があると感じるものはありますか？（複数回答）

- 知識量が増えた       興味・関心を持つ範囲が広がった       集中力・想像力がついた       感受性が豊かになった       生活習慣、常識的な行動が身についた  
 手伝いをするようになった       家族の会話が増えた       静かに待つことができるようになった       特にない

(27) お子さんが電子メディアを使って、今現在、悪い影響があると感じるものはありますか？（複数回答）

- 視力の低下       聴力の低下       運動能力の低下       依存または依存傾向       言語の発達が遅い       感情を抑えられない  
 集中力、想像力が低い       自発性の低下       生活習慣の乱れ       悪い動画の真似をする       感情表現が乏しくなる       特にない

(28) 子育てに関して困っていることはありますか？

- 大変困っている       少し困っている       あまり困っていない       困っていない

裏面へつづく

(29) ご家族の一日の電子メディア(テレビ・DVD・ビデオ・スマホ・ゲーム・タブレット・パソコン・携帯用音楽機器)の使用時間について記入してください。

※大人は記入される方の分をご記入ください。  
 ※最初と最後の時間を黒く塗りつぶし、線でつなげてください。  
 ※健診を受けられたお子様以外に兄弟姉妹がいる場合、年齢順に記入例のようにご記入ください。  
 ※お子様が全く電子メディアの視聴・使用がない場合は、年齢のみご記入ください。

(記入例) 平日、子どもが8:00~10:00、13:00~15:00、17:00~19:30に使用する場合と7:00~9:00、12:00~15:00、18:00~21:00まで使用する場合  
 平日、大人が5:30~9:00、19:00~24:00に使用する場合

	時	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	1	2	3	4	合計時間
		30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	
平日	子ども (1)才				■	■	■				■	■	■			■	■	■								6時間30分
	子ども (3)才				■	■	■				■	■	■			■	■	■								8時間00分
	子ども (5)才				■	■	■				■	■	■			■	■	■								8時間00分
	大人		■	■	■	■	■									■	■	■	■	■	■					8時間30分

(回答用)

	時	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	1	2	3	4	合計時間
		30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	
平日	子ども ( )才																									時間 分
	子ども ( )才																									時間 分
	子ども ( )才																									時間 分
	大人																									時間 分

	時	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	1	2	3	4	合計時間
		30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	
休日	子ども ( )才																									時間 分
	子ども ( )才																									時間 分
	子ども ( )才																									時間 分
	大人																									時間 分

↑  
合計時間を記入してください。

アンケートへのご協力ありがとうございました。

宮崎県立看護大学 地域貢献等研究推進事業

「宮崎における子育て支援推進事業」

分析・編集：宮崎県立看護大学・子どもとメディアみやざき

甲斐鈴恵（宮崎県立看護大学・子どもとメディアみやざき）

谷口重晴（宮崎県立商業高等学校・子どもとメディアみやざき）

新田克招（高岡地区青少年育成協議会・子どもとメディアみやざき）

中尾裕之（宮崎県立看護大学）

山崎カオリ（学研大塚あいあい教室・子どもとメディアみやざき）

<協力>

子どもとメディアみやざき

宮崎市福祉部子ども未来局親子保健課

発行：宮崎県立看護大学 看護研究・研修センター

〒880-0929

宮崎市まなび野3-5-1

電話：0985-59-7833

